

KIMEKOMI ART

FEB 2025

KIMEKOMI ART



IWAMIZU ASAKO

PROPOSAL

FABRIC JOCKEY

イワミズアサコ

Asako
Iwamizu

ファブリックジョッキー(FJ)として世界中のファブリックとその生産やそれを身につける人を紡ぐアート活動を行う。代表的なシリーズ「キメコミアート」は伝統・最先端ファブリックの廃材などを利用し言語や文化を超えポップに地球環境への意識を高めるシリーズとして多くの人を魅了してきた。

CREATING A WORLD FILLED
WITH HAPPINESS AND LOVE



WHAT IS KIMEKOMI ART?

キメコミアートとは？



日本の 伝統工芸技術

およそ300年の歴史を持つ
伝統工芸「木目込み人形」の
技術をユニークなアートに昇華

世界中の ファブリック

伝統的な布から最新の素材まで
世界中から集められた
古着や廃材を素材として利用

文化や言葉・年齢を超えた対話・体験から
ポジティブな力を生み出すアート活動





Anthro series : Rabbit



Anthro series : Raccoon



Red list series : Anteater



Red list series : Elephant



Heritage series : Bijinga Ukiyo-e



Heritage series : Daruma



Portrait series :
Audrey Hepburn



Geometry series : Earth

ACHIEVEMENTS

2025.1月時点

これまでの活動

国内外
展示数

70+

国内 13都市

海外 5都市

パリ
ロンドン
ニューヨーク
バンコク
台北

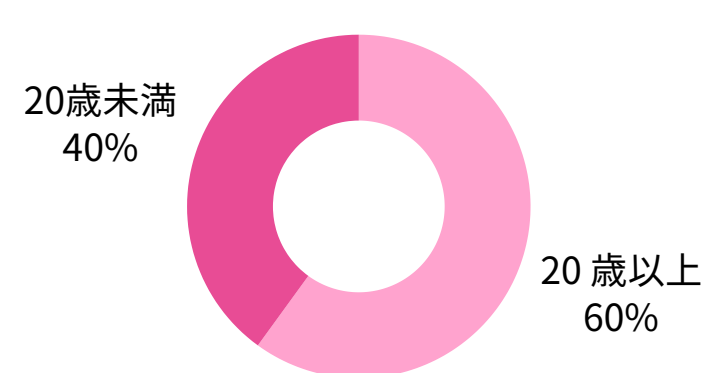
コラボ
社/者数

65

良品計画
アダストリア
三越伊勢丹（銀座）
阪急阪神百貨店（博多）
アートアベニュー
日本IBM
大丸松坂屋
吉本興業
イエローディビジョン
マ・メール
ウィファブリック
ets

ワークショップ
参加者数（のべ推計）

約 2,600



制作仲間
(Kitty)

20

デザイナー
学生
ヨガ講師
主婦
美容師
カメラマン
アートディレクター
etc



KIMEKOMI ART ✕

久留米絣
博多阪急
カノアラウレアーズ 福岡

博多阪急のお客さま、地元のバレーボールチーム、図書館の利用者、そして市長と共に、筑後地方に伝わる綿織物・久留米絣を使用した773ピースの地球儀を共同制作し、福地町図書館へ寄贈。



KIMEKOMI ART ✕

回収した古着
WEFABRIK
TOKYO SQUARE GARDEN

オフィスワーカーや来館客から不要となった衣服を専用BOXで回収し、来館客と共にクリスマスツリーを制作。洋服再利用を通じてファッション廃棄の低減を実現し、街の彩りにぎわいの創出に貢献。



KIMEKOMI ART ✕

販売できないB品の活用
パリ店の来店者
UNIQLO Paris

ジャパンウィーク内で実演展示、ワークショップイベントを開催。ユニクロの販売できないB品と着物生地を掛け合わせ、来店者に開いたイベントを開催。言葉の壁を超えて子どもから大人までキメコミアートを通じた交流を創出。

HOW I CREATE ARTWORK

作品ができるまで

子供から大人まで文化や言語を超えて
世界中のファブリックを手に取り共に創り上げる

制作風景をこちらからご覧ください
<https://www.youtube.com/watch?v=aN7KtMTIKnw>





イワミズアサコ(ASAKO IWAMIZU)さんインタビュー | 布で描く「キメコミアート」の世界

媒体名: This is Media
 運営会社: thisis株式会社
 公開日: 2020.06.22
 リンク: 右記QRコード



キメコミアーティスト・イワミズアサコ氏と考える、アートを通じた市民参加型社会

媒体名: Smarter Business
 運営会社: 日本アイ・ビー・エム株式会社
 公開日: 2022.01.21
 リンク: 右記QRコード



**アートで目指す循環社会の実現
キメコミアートに込めた「循環」と「学び」というテーマ**

媒体名: 「理想の詩」創り出す人々
 運営会社: 理想科学工業株式会社
 公開日: 2023年秋号
 リンク: 右記QRコード



服の端切れを組み合わせ作り出すキメコミアートの世界観、イワミズアサコさんが表すファストファッションへのアンチテーゼ

媒体名: FASHION TECH NEWS
 運営会社: 株式会社ZOZO
 公開日: 2023.10.25
 リンク: 右記QRコード



TV出演

- ぶらり途中下車の旅
日テレ
- 所さんのそこんところ
テレビ東京
- めざましテレビ キラビト!
フジテレビ
- ノーゾーのひらめき工房
NHK教育テレビジョン (Eテレ)
- etc



VOICES



藤澤 雅義 株式会社アートアベニュー代表取締役社長

初めて丸の内のギャラリーで先生の作品を見た時から、ファンになりました。テンションが上がるんですよ。楽しい作品ですし。これからももっともっとたくさん作品を作って下さい！



鰻 和弘 お笑い芸人 / アーティスト

キメコミの割り線、配色、使用する生地、全てセンスの塊だと思います。そしてイワミズさんの人を惹きつける人間力が群を抜いています。だから作品も人を惹きつけるんだと思います。これからは【世界のイワミズ】になってもらうしかないと思います。



三浦 メグ ファッションデザイナー

学生時代からの友人であるAsakoは、当時からグラフィックやカラーリングなど、今につながるモダンな世界観の持ち主でした。ファッションの感性と、モダンアートが光るカラフルでハッピーな作品群がとても魅力的です。作品を通して、国内外を問わずたくさんの人々を幸せにしていってください。



柴田 順子 日本アイ・ビー・エム株式会社

語弊を恐れずに言えば、キメコミアート作品に備わる魅力は画面や紙面では伝わらない。直に出会って、作品に生まれ変わった様々な布の質感や色彩、凹凸などを感じることで、作品全体としてその題材の生き生きとした「生」を感じることができる。制作された作品を目（視覚）で味わうだけでなく、ワークショップを通じて手（触覚）からも味わうことでよりその感度は高められる。

「生」の出会いの体験は自分自身の中のまだ解き放たれたことのない野生味と可能性に触れること、あるいは深層で求め続ける安心感を獲得することを促してくれる。それは、キメコミアート作品が作家にしか作れないアート作品ではなく、現代の民藝とも言える作品であることが要因の一つではないだろうか。つまり、キメコミアートはイワミズアサコという一人のアーティストから生み出される作品に留まらず、我々の生活の中に容易に入り込むことができ、我々にも作品となるものを作り上げることができる間口の広さを持っている。そして、作品制作に携わる課程で自分の感覚・思考のプロセスに向き合い、その結果、感覚と思考が投影された作品が出現し、はたまた作品として具象化された自己を日常に置くことになる。改まった垣根を一切作らず、この作業を自然に促すアートは非常に稀有な存在であり、それがキメコミアートの魅力なのだと言える。

イワミズアサコさん自身が作り上げたアートを媒介とみなし、表現者のみならず媒介者として、誰もが等しく表現者となれる場を作り上げている。各地の歴史あるファブリックの活用と参加型アートを提供する彼女は、アートの領域を超え、教育、環境、地域創生など多岐にわたる分野におけるハブになる存在だと感じている。

NEXT STEP

キメコミアートはさまざまな国内の生地メーカーやアパレルブランドとコラボレーションを実現し、生地の持つ魅力を作品やワークショップを通じてたくさんの人に届けてきました。

世界には伝統と革新に満ちたファブリックがまだまだ多く存在します。未知なるファブリックに出会い、文化や言語を超えた交流を生み出していくことがキメコミアートの次なる目標となると確信しています。

今後は日本国内での発信のみならず、海外にも展開の機会を広げていくことに挑戦していきます。

UPCOMING EXHIBITION

Solo exhibition at

THE WHITE BOX

Nobu Hotel London Portman Square

2025. May

日本・イギリスの伝統と革新が
織りなす新作キメコミアートを発表
両国のファブリックを介した
新たな出会い・対話を生み出す

EXHIBITION OVERVIEW

展示会場

THE WHITE BOX at Nobu Hotel
London Portman Square

22 Portman Square, London W1H 7BG England

ターゲット オーディエンス

ロンドン在住のアートや日本文化に関心の高い方々とその子どもたち

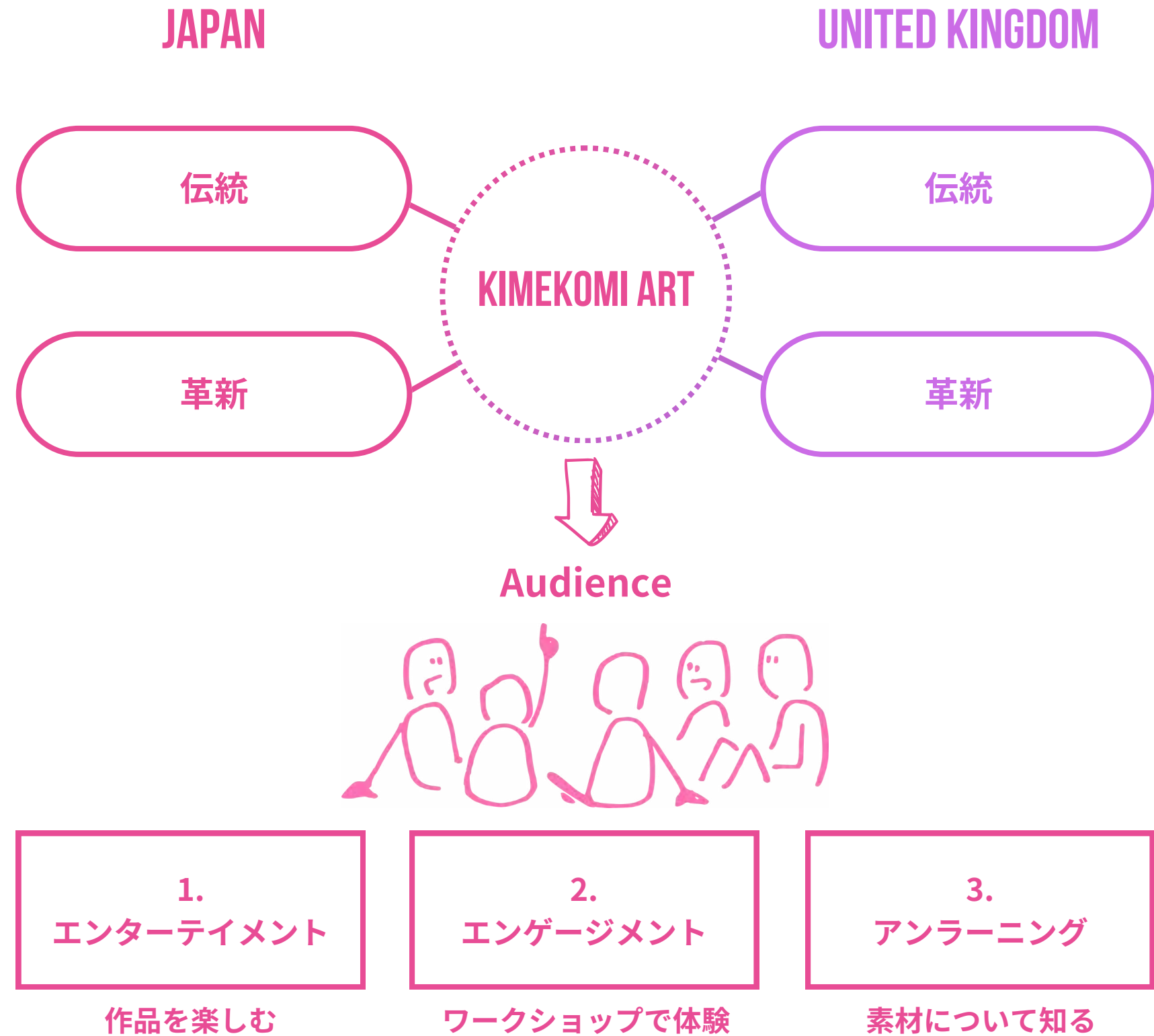
展示構成

日本、イギリスの伝統的な生地、革新的なファッションデザイナーやブランドの生地を掛け合わせ両国の文化を表現した作品群を制作・展示。

それぞれの生地は映像や写真でその魅力や背景を解説。

ワークショップを通じて来場者参加型の展示を企画。

展示について



01 ファブリックを使った
世界で唯一無二のモダンアート

(社会問題にポジティブな力を生み出すアート活動)

02 伝統×革新の作り手や
デザイナーの交流が生まれる

(同じ目標に共感する仲間を集める)



03 来場者参加型の
展示設計

(大人から子供まで参加できるワークショップ)

04 ファブリックの
魅力と課題を伝えるコンテンツ

(素材生産現場や環境問題を伝える動画)

01

ファブリックを使った
世界で唯一無二のモダンアート



01

日本の伝統素材を使用した
UKポップスター風 赤リス

02

日本の最先端素材を使用した
UK紳士風 ハジロコウモリ

03

UKの伝統素材を使用した
ジャパンコミック風 ニホンカワウソ

04

UKの最先端素材を使用した
見返り美人風 イリオモテヤマネコ

主な使用素材（予定）

JAPAN

伝統：久留米絊・西陣織
革新：低炭素型のポリエステル

UK

伝統：ハリス・ツイード
革新：イギリス拠点の最先端素材

02

伝統×革新の作り手や
デザイナーの交流が生まれる

現地滞在

会期前に現地にて作品制作、
イギリスのメーカーやデザイナーとの
交流を生み出す。

EXHIBITION in LONDON

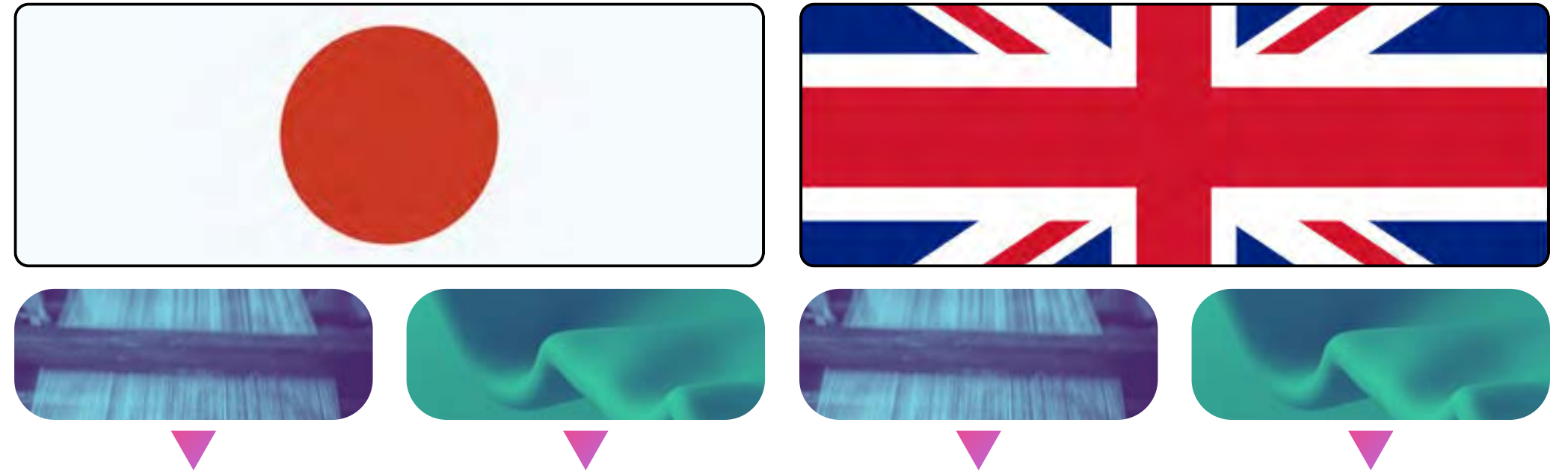
両国のファブリックや文化が織りなす
キメコミアートを展示・発信

凱旋展示 / 使用ファブリックのデータベース化

新たに生み出された作品の凱旋展示。
ファブリックを通じて両文化間の
コミュニケーションを促進させる。

03

来場者参加型の
展示設計



作品に使用されている両国のファブリックを使ったワークショップを実施

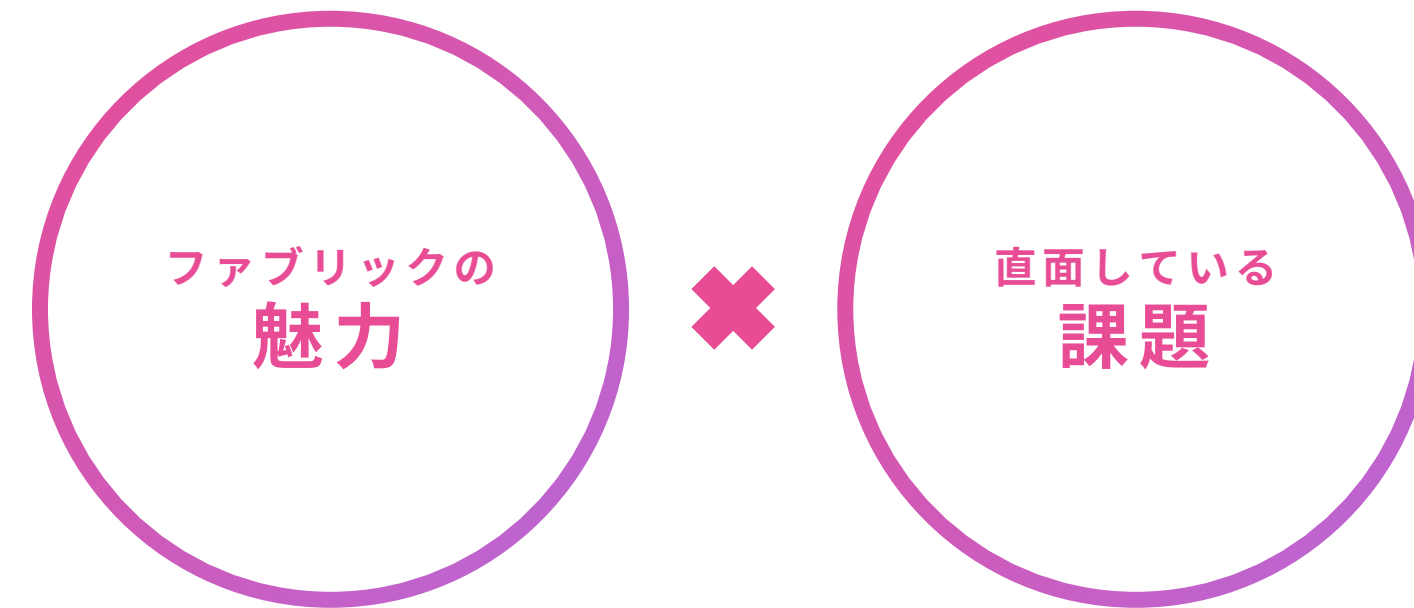
体験を通じてファブリックの
素晴らしさを感じる

04

ファブリックの
魅力と課題を伝えるコンテンツ



展示会場では作品に並び、
動画などのメディアを使ったコンテンツを展開。



「楽しさ」から「学び」へ

SCHEDULE

今後の予定

海外展開に合わせ、現在ファブリックを起点にした様々な企画が進行中。
ローカル/グローバル・生産者/生活者・伝統/革新、垣根を超えたつながりを生み出していきます。





イワミズアサコ

アーティスト/ファブリックジョッキー

ファッションデザイナーとしてキャリアを積んだ後、2008年よりアーティストとして活動を開始、国内外で高い評価を受けてきた。その間、多くの国でファブリックマーケットを訪れるなど、世界を旅して感性を養って来た。また、古着や廃材などの材料を積極的に使用し、社会問題である現在の薄利多売と過剰包装、そしてファストデリバリーによるファッション産業の崩壊などに対して、警鐘を鳴らす作品を発表している。日本の伝統技法「木目込み」を昇華させた“キメコミアート”の生みの親。カラフルでポップな楽しい作品は現代版のジャポニズムをもイメージさせている。日本各地を訪れ作品の展示に留まらず、イベントの際にはワークショップを積極的に開催し、アートを通じたコミュニケーションから新たなコミュニティを作る循環型のアーティスト活動を続けている。



カサジマオオキ

デザイナー/Bakbank合同会社 代表社員

これまで日本、イギリス、ドイツ、トルコにてプロダクト、グラフィック、空間などのデザインや写真・映像作品のディレクション・撮影を手掛けてきた。暮らしをもっと楽しく豊かにする未来をデザインする事に Passion を持つ。オン・オフを通して、より良いアイデアやコミュニケーション方法を探求する日々を過ごす。複雑に絡み合った現代の課題を整理・噛み砕き、解決に向かわせるには創造的な視点が必要不可欠になる。最近はまだ幼い娘とのコミュニケーションを楽しみながら奮闘中、やや苦戦気味。

現在、フリーランスでデザイナーの活動を続けながら、社会課題解決のためのプラットフォーム構築に取り組む ICHI COMMONS 株式会社にてクリエイティブディレクターを務める。



キユキミヤモト

アドバイザー

「ONE WORLD 世界との距離を0にする」

米国NYに留学中に出来た沢山のファミリーと友達のネットワーク途切れることなく、日米を行き来する中で、ビジネスネットワークはヨーロッパや、オセアニア、香港にも拡大。30年以上のビジネス経験を活かして、さまざまな分野におけるプレミアムマーケット開発を牽引。それぞれの国の文化や慣習に合わせた国際的なブランディング、ブランド開発、統合、パートナーシップに関するサポートが得意分野。サラハップ、DS & DURGA など様々なニッチブランドを日本へ導入。

世界中のパートナーと強固な関係を生かして多くのプロフェッショナルを世界中に紹介し、人々のワクワクを刺激し新たな需要を生み出す。

バクバンク

BAKBANK

合同会社

日本国内だけでも年間約30億着の衣服がつくられ、その半分の約15億着が廃棄されています。家庭からは中古の衣服が年間約48万トン廃棄され、1日あたりの平均廃棄量は約1,300トン（大型トラック約130台分）にもなります。また、製造時には大量の水やエネルギーが使用され、それが引き起こす環境破壊は甚大な影響を地球に及ぼしています。

私が子供の頃に憧れた華やかなファッションの世界はその一方で社会のバランスを崩している大きな原因となってしまっているのです。その背景には私たち自身の服との向き合い方にあるのだと考えています。シーズンごとに新しい服を買い、飽きたら捨てるという習慣が多くの人にとっての当たり前になっています。服は本来、食事や住まいと並び、私たちが生きていくために必要な大切な要素として扱われてきたにも関わらず。。

キメコミアートのミッションは、服やファブリックに宿るストーリーを今一度たくさんの人に届け、ハッピーでポジティブなパワーを世界中から集めてくることです。それぞれは小さな力かもしれませんが、世界中の一步が集まれば大きな流れになっていくと信じています。

時代の流れによって減少している伝統的なファブリック、社会問題に立ち向かうために開発された革新的なファブリック、リユース・リサイクルにより新たに生まれたファブリック、そしてそれに携わる人々、またはこれから興味を持っていくであろう子供たち、世界中の人が協力しあえるキッカケをキメコミアートは生み出していきます。

まだまだ小さな流れですが、一緒に大きくしていきましょう。
ぜひ皆さんの力を貸してください。

Kimekomi Art 活動にご関心をお持ちの方へ

下記のようなご支援・ご協力をいただける方はぜひご一報のほどお願いいたします。
また、ご提供していただけたら素敵なお方のご紹介でも構いません。
世界中の人にとって必要不可欠で身近なファブリックを通じて
より良い社会を目指すアートをつくる仲間になりませんか？

- **ファブリックの端材や廃材のご提供**

常にまだ出会っていない素晴らしい素材を探しています。

- **使わなくなった衣装や古着などのご提供**

服として一度使用されているモノに詰まっている想いも作品の一部となります。

- **生地や織物に限らず新規開発された素材サンプルのご提供**

人口皮膚？宇宙服？バイオマス素材？世界の最先端を取り入れた挑戦をしていきます。

- **世界各地域で作品制作が可能な宿泊・アトリエスペースの貸し出し**

2025年は英国ロンドンや米国ニューヨークへの展開を予定しています。

- **より多くの方がアート制作に参加していただける機会の創出**

子ども・大人・特性を持たれる方・チームビルディングをしたい方、どんな方でも制作やワークショップにご参加いただけます。

お問い合わせ

イワミズアサコ

asako@bakbank.jp

カサジマオオキ

oki@bakbank.jp

バクバンク
BAKBANK
合同会社